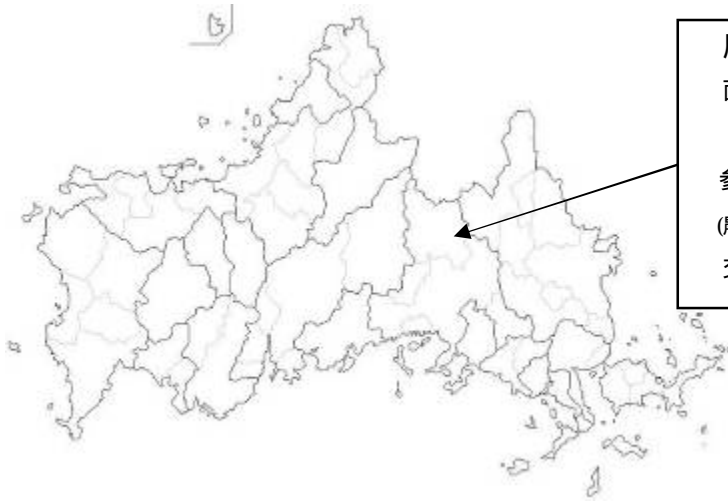


# 集落協定 かわら版 (第27号)

(平成21年3月27日 山口県農業経営課)



## 周南市片山集落協定

面積 / 田 急傾斜 0.3ha

緩傾斜 7.8ha

参加者 23人

(農業者15人、法人1人、非対象農家7人)

交付金 330万円

山口県中山間地域等直接支払検討会委員である山口大学農学部 糸原義人教授が、周南市片山協定集落取材しました。

## 熟年パワーでがんばる 協定集落を訪ねました。

・・・周南市片山(かたやま)  
協定集落・・・

今回は、周南市片山協定集落の代表の石川光生さん(69歳)、会計の三浦昌之さん(69歳)と女性部の森弘福エさん(70歳)に聞きました。

協定集落の状況は。

片山集落の協定農用地の面積は、8.1haと小さいですが、集落協定への参加者は、農業者が15人で、非対象農家

が7人と集落のほとんどが参加しています。

集落内の農業生産活動は、60歳から70歳の農業者が中心となって行っています。元気なうちは、自分たちで何とか集落内の農地は守ろうと考えています。

若い後継者はいますか。

集落内には、後継者はほとんど住んでいません。でも、集落外ではありますが、旧鹿野町内に住んでいる後継者は何人かいます。

毎年、8月7日に、集落にある神社の夏祭りを行ってきましたが、昨年8月の第一日曜日に日程を変更し、他出した人達に声をかけたところ、7家族が帰ってきて、一緒に祭りをすることができました。

その機会に、呑みながら将来の集落の農地保全についても話し合いができ、変更して本当に良かったと思います。

現在の農業生産活動は。

高齢化は進んでいますが、元気なうち、自分たちで、何とか集落内の農地を守ろうと、平成 19 年 10 月に近隣の 3 集落で、営農組合を立ち上げました。

機械の共同利用と作業委託もすすめていけたらと考えています。

その他に協定農用地内には、旧鹿野町を活動エリアとする有限会社鹿野アグリに利用権設定している農地もあります。



(片山集落協定代表の石川さん)

交付金の使い方は。

協定面積が、8.1ha とそれほど大きくなく、急傾斜農用地も少ないため、69 万円と少額である交付金は、45% を個人配分、55% を共同取組活動に充てています。

共同取組活動費の使途としては、大部分を協定農用地への堆肥施用に使っています。近くにある鹿野ファームの堆肥を 10a あたり 1.5t 施用しています。

そのためのストックヤードも、JA の別事業で作りました。

共同取組活動に充てる交付金が少な

いこともありますが、年間 4 回行っている農道・水路の管理の日当は、これまで、自分たちが住んでいるところであるし、集落の当然の取組として、払っていませんでした。しかし今年度から、農地・水・環境保全向上対策に取り組むこととなりましたが、そちらの世話も大変です。

その他の共同取組活動は。

集落の景観を良くするために、法面に彼岸花、菜の花や水仙を植えています。川土手には、みんなで桜の木も植えました。景観を良くすることで、住民の憩いや、都市との交流の場になればと思います。



(法面の彼岸花)

体制整備単価の取組項目は。

「地場産農産物の加工販売」と「多面的機能の持続的発揮に向けた非農家・他集落との連携」に取り組んでいます。

(ここからは、森弘さんの話)

片山集落がある大潮地区には、7 集落で取り組んでいる直売所の「大潮田舎の店」があります。平成元年に地元の女性有志でスタートした取り組みが、平成 14 年に現在の形になりました。

店には朝市部会、加工部会、交流部会があり、私たち加工部会員は週に 2、3 回ほど当番が回ってきます。当番の日は、

朝、2時に起きて、豆腐、お餅、寿司、かしわ餅、豆乳ババロアなど、盛りだくさんのものを作ります。

材料の米は、会員さん達が作ったもので、豆腐の材料の大豆は、鹿野産です。集落内のほ場で栽培しているそばを収穫（11月頃）したら、それも加工して販売します。

55歳の会員が一番若いですが、非常に楽しくやっています。



（都市住民との交流よもぎ摘み）

今後、集落の農地保全はどうしますか。

他出した子供たちが帰ってきて集まる夏祭りの時に、自分たちで農地保全が大変になってきたときには、お前たちに任せるぞと言っています。幸い、他出した子供たちも、あまり遠くへは行っておらず、同じ旧鹿野町内に住んでいる者も何人かいるので期待しています。そうはいつでも、私たちもまだまだ、やるつもりですよ。

～～～ 編集後記 ～～～

他出後継者を含め、集落の人達の仲の良さが伝わってくる事例を紹介しました。

県農業経営課 徳永  
電話 083-933-3350

～～取材を終えて～～

糸原 義人

片山地区は周南市の最北部旧鹿野町に位置しており、過疎化が深刻と聞いていました。

しかし、お会いした皆さんはとてもお元気でした。

地区では3集落が集まって過剰投資を抑えるために「集落営農組合」が創られ、現在は作業受託を中心に営農活動が行われています。地区の耕作面積は8.1ha、全て水田として利用されており、このうち急傾斜地は26aということでした。交付金は堆肥散布や農地の維持管理など農業生産関連に利用される一方、草刈りや彼岸花の植え付け、菜の花栽培など、地区の景観を良くするために使われています。

またここには「大潮田舎の店」があり、女性を中心に朝市、加工、交流事業が活発に行われています。交流事業では「そば打ち」や「餅つき」など、様々なイベントを通じて、町の人との交流活動が行われていますが、女性部のこうした様々な活動にも交付金が利用されています。

現在、60～70代の世代が地区を守り、綺麗に環境整備がされています。お米の生産もエコファーマーとして「こだわり米」が生産され、少し高めの値段でJAが購入していることでした。地区の皆さんは本当にお元気で、充実した毎日を送っておられるのを実感しました。

ところで、少し気になりました。若い人が地区にいないで大丈夫だろうか。

8月、7人の若者が中心になって「夏祭り」が開催されました。日頃は疎遠な若者が、お年を召した父母の呼びかけに応じて、故郷の夏祭りを開催されたのです。若者パワーが満ち溢れた様子が手に取るようになります。

すばらしい若者達ではありませんか。

お聞きすると6～7人の若者が町中で働いておられるご様子、呼びかけに応じてすぐ行動に移される若者のお話を聞き、「これなら片山地区は大丈夫！！」という思いを強くしました。

皆さんの頑張っておられる姿を拝見させて頂き、逆に私はパワーをいただいたような気がします。これからも、益々のご発展を心から祈念したいと思います。

県内の集落協定には、都市住民の皆さんと交流できる活動を行っているところがたくさんあります。集落協定かわら版26号に引き続き紹介します。

各地の都市住民交流イベントや一般の人が参加できる協定活動(その3)			
場所 (関連する集落協定)	内 容	時 期	問い合わせ先
宇部市吉部 (水尻川協定)	都市住民との交流に取り組むため、体験農園を開設し、そばを中心に麦、人豆、各種野菜を栽培し、農作業、農作物作りの体験活動を実施	通年	水尻川農園(中井) (0836)-58-C379 C90-7540-6045
萩市田万川 (友信協定)	集落の住民が、300余年の伝統がある友信神楽を後世に継承するために、保存会を結成し、演舞会を開催	秋季	萩市田万川総合事務所経済課 (08387)-2-C300
萩市吉部 (野田、大光寺協定)	集落を流れる小川で、ほたる祭りの開催(特産品販売、餅まき等)	6月	萩市むつみ総合事務所経済課 (08388)-6-C211
萩市吉部 (麻生、三戸原協定)	地域のやすらぎの場として設置し、管理されてきたあじさい畑を活用して、あじさい祭りを開催	6月	萩市むつみ総合事務所経済課 (08388)-6-C211
萩市吉部 (二反田、殿川協定)	ほたる祭りの開催	6月	萩市むつみ総合事務所経済課 (08388)-6-C211
萩市須佐 (前地協定)	わらび狩りの体験農園を開設	4月中旬	萩市須佐総合事務所経済課 (08387)-6-2219
萩市平蔵台 (第3-3農区(平蔵台)協定)	春に「わらび摘みフェスタ」、秋に「芋掘りフェスタ」を開催。(わらび摘み、芋掘り、竹細工、餅まき、農産物・加工品の販売等)	4月末 わらび摘み 10月末 芋掘り	萩市福栄総合事務所経済課 (0838)-52-C121



萩市平蔵台の  
「わらび摘みフェスタ」と  
「芋掘りフェスタ」の様子